御傘

伊地知文庫
文庫20
334
2

伊地知氏書冊

補猶小傘

元礙菴

序文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みちふこゝろとゝ句わゝそのこゝろ和歌の乃ゑ(ゑ)ばこゝろふこゝろ
きこゝよおせわゝ又り悔るゆよ(くゆ)
あゝこゝ侍し公事の義(ぎ)式(しき)和
と人ゝ山をゆいこゝ通とせこゝむ
子通理あゝ呼こゝる連ゝ句
よ一言雅一句こゝれ共義の事又
も大物こゝれこゝ二句もこゝ
組世こゝの人ゝ事こゝよこゝの付
こゝ句ゝ句こゝれこゝ脈こゝも言
句あゝこゝ句こゝ

代 君ゝ代こゝ神代こゝ脈こゝ
いにかにこゝゆこゝ殺こゝよ
こゝこゝ句あゝこゝあゝの代
こゝいに天神七代地神文代
君ゝ代こゝ代こゝの流ゝ乃こゝ
君ゝ代こゝ流字こゝ和とゝ
強へ一世こゝ乃世こゝの世の字
ゝこゝ代のこゝ連歌こゝ
文句こゝれこゝ脈こゝ三句
こゝ句こゝ世のこゝ
後乃世こゝ代こゝ
こゝ世こゝ絶こゝ別こゝ
句こゝ文代和代こゝ代
こゝこゝ代こゝ續あゝく
こゝこゝ句こゝけこゝ
こゝこゝ世のこゝ
和神代(こだい)神代こゝ殺こゝ
句こゝ句こゝ面こゝ
強へこゝ歌こゝ
こゝ句こゝ
こゝ乃代こゝ代こゝ

ゐるくいう歳万歳を経たる人の
数寿古歌にくにに千世万世
と世と乃せの寿をうきり
数の文書るるとにもるる孫
乃代くちをるる次百世万世と
くるるもの寿も絶まるを
おしくいくあいの寿乃ろく
絶よろれと云こくいるを
ちよくに絶つふい代乃ようにわ
定るるし古今の序のよい
十つきとりくらも其序よ
い十代いうきわくはやうにのこ
わろうとゐへし秦始皇二代
めとい二世の寿たるとうさ晉
王莽七代めいう孫よあるを
二世乃孫とゐ物ゐうい多ら
くるるもあいた
くくるるもひるもい
くくくく

当代まれなる事なりとの
改る世乃なるしるしの花さき
ぬれば花のうちわめるこれ
代乃よし宰人なるこのより
ある世のなるしるしき時よあ
さ時ふにあるるるるるる時代
とりきてしるいのよし仏乃よ
弥勒のよ神代ようちうく
仏なる世ともいに世のこれ
親のよ弥道のよるれよ
よのよみこいるふいのに成
なさ海まる世もも成ふも
乱ろよもも成ふすえん
当世のよにかるわれ世れよ
いるへ乃よい世のよしむる
ぬいるるるるる

乃世ハ一いきまの杉のあくもう
うよもぶしゆとゑ句れ相し
瀧殆りハいきまの世るわた
教ふまんつく加濃しく山と
ちゝ雪面をうゐうしひ間恋の
よハゑ乃世りしち句ちしうし
辛世のし紙教みよ濃く二と
ふるうし尾しゝ弟く辛世
のよ一句よるへり寸遠懐
乃世教よ濃しく世ハ行るゝ
尾ちうゝ寸くしいふ句尾
紙ちへゝ大教の世も恋乃
よも雪同ゐうんと教くと
ゆりらゐれて六句乃ゆいるへ
うゝ伏代乃ゐ遠ゐよ句
恋ゐれて瀧殆りハ三句へ
ちもちゑへゝ世中ハ世乃
ちもちゑよ中といふ字よ
二句ちくいつわ世中のゐに
ちりゝふ字ゐ句ちよし付句と
わ怪へゝし

よもて人

奈つと出にら
て拾世よて蟲
同面組平出蟲同紙濃く紙
武よゐ出瀧し瀧ゐふゐ面と寸
蟲も紫つゝ教よよ濃し
世を拾ゐよも句ちへゝ
附ハ拾ちゝ字ゐ人といふ字よ
ハゐゐもちゝ句ゐ濃ゐし濃よ
もて人ちふ河て世の字に
面をゝゝひ拾字ゐ人の字
よ二句ちゝ紙ゐ蟲ゐ三よ附

ぬ我をうら和歌乃ゐを弦
かものなり祭つゝ殺ゐ
よもつくも述懐し人倫し
数よしし阿述懐の世乃字
乃数ゐんゐしよをてひゝ
よし阿て述懐乃世の内成
毎一為ゐうこよ和けこを
宮し世ををて人も世をて
人も同一事ゐるに祭つゝ
およ文字のれてて述懐
乃をゐ内ゐ世よ面ちよて種う
ゐのをし俗され和ゐ
ゐゝゐゐれよ行ゐやらん
但和をて種うゐあ和ゐ
連よも面汁を種いうゐ
ゐふゐうて和をきうえ

ゐをしひゐに准
しゝ七句ゐゝゐゐ出ゐれゝ
も殺よ續奉ついゐゐる
世ゐ面ちを種ひよをて人を
云阿ゐ和を種ゐうえゐ

よりひゐ三ゐ字ゐ

三十年軍ゐゐゝゐゐ年
乃字をゝ祭ゐゐゐゐゐ
よ和ゐちと種ゐゐよ連ん
字よハ二句ゐと連よゐう

よりひふ 形二句ゐゐし
但句和よゐえ
しゐゝ

和さむ 和ゐし和さむひをを
ゐ和よをゐう人

[illegible]

蓋 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

とてもかなと加し芳也閑谷
雜しも雜也百韵より芳也とも芳也生也
芳也ゆ稀也いのく二ちかに
吳服一芳也蘆芳也茅舍
色二つのく今一句句ゆ
句句清杉をうふかしうう
芳也ハかの乃芳也とくふ句
よハ杉を畑ともくさきもも
芳也芳ゆく八二句云ゆ
蔺藺と云雜し

霞 久河ゆよあ寸杉も
乃字よよ句連り
きこへを雜りハ三句ゆへな
袋ゆ二句畑へさし乃
芳ハ句しハ久芳
杉をきこふと霞と
ゆも云久ハ乃字ハ新
式よこ西清ゆけ也と云
連よ霞とこしひと二句
乃和ゆ雜りこしの二こ
ハのんやと霞お霞ハ
霞ゆこの内和ゆ今一
ゆへしゆれ也こ

乃字ゆ 和ゆ乃文を
乃和ゆ乃事也雜杉ゆ
わゆるまてハ杉ゆこハ和ゆこ云
し杉式よ乃字ハ時ゆ
わ清とゆ芳ゆハ芳ハ時
ゆ雜ゆよ不雜ゆふ後
なゆへ

横川 あるひとの説なり

齡 の三字は四字なり

年の字は数の七十八十

八百歳とあるは彭祖の事歟のうち

歳をきてゝ物語乃不老長

久なるべしとて彭祖を物学

乃名遠生の翁くちわひ八

年久米寶壽繁るなれ張

をさ遠方の物合をあらそ

一同よりあつまりおのゝ

をう神ゝ取よ今うあをも

佐くしに物おかるゝも貴れ

和を出物をゝものしと一服

くゝよ盛漆ちをるゝ物ら

此一ケ条八歳の

名うんの男うの

おうんをよ合点佐くゝ

三ゝらはゝらゝよい年

乃字を二白ゝ

ゝをつゝ時ゝゝ

ち乃字よ年の文字あるう

とうゝく物まゝ

年ゝを不のゝ年 穂米

ち乃数年ゝた乃字ゝも

古人ゝ漢ゝあゝ

くゝゝゝのゝ

をゝのあれ祖ゝ年集

ナ知ゝるゝあゝ

ゝをゝゝの知いゝちの知

をゝゝ漢を人ゝ年の数を

つゝ時ゝ四十年ゝ十年と

[illegible]の人[illegible]
[illegible]乃[illegible]に
四十[illegible]
[illegible]十年[illegible]
[illegible]人[illegible]齢乃時[illegible]
[illegible]時も年
乃字をそ[illegible]
年の字を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]年の字を[illegible]
[illegible]乃時[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]乃軍[illegible]

字[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年[illegible]八十八[illegible]
[illegible]乃字[illegible]
[illegible]
[illegible]乃軍[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]乃
[illegible]
[illegible]
[illegible]

みそれ物ゝ見ハ古今書屋よ
三十一字乃文字をよ
あ面り一ゝ出ゝ出ゝ出

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

人倫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

糯

糯を一名こもと乃字をおも
花乃字よりも一向きこえ
侯花糯と云画糯とうけて
もしも花乃字の詞もう
き俗なりと花をかめくむ
しのもの乃字あれば家あれば
花糯と云時こそ花乃字なり
二句始乃字しの花の九種なん
糯数をそなへの糯をそん
そなる糯ともに家道しなやし
ひくとう白ひとうくいなよ
ゆるうへうこ侯ゆるを天智
天皇の御歌のよ　糯おこそ人
花こへこの業こへ数り和
をけとまりこうのの末花
糯花を黄糯じく糯とよへ
おゆへよ咲句の糯をそても
皆夜よ数りし連りの一座を
句乃糯をれこも糯或へ人こ
ををこと侯人ここをり那
よ糯こう花こ侯ゆるこう
一ゆうく糯或或へ画糯をく
数よりひく今一こへ一ゆ
まだいくきこうこうこうこう
こんうんをこ列糯久年毎
家糯ホ糯乃ゆるゆこうゆへ
いこ可こ実こ糯くゆせい
夜ゆもゆこう侯糯ゆこうよ
ゆうくゆこのの色うの糯ゆれ
こゆ間糯をこへく糯二乃
ゆよ今一句こへこう連り

之橋乃字より橋度を重ね
侍れば嫌ふべし三句ともに
業種の名乃陳皮橋皮根
穀根実毒皮赤種柏より
なりて者をもちひ次業
種乃名より始りて乃柏
なれども成法より及まり
業なりて用ひも橋皮一種
に橋乃字もちひられて者と
句乃間隔なり

縁乃字二

嫌ふべき三句まで
連ねても三句乃間もなくと
云縁義と云先三句の名
乃云縁の字より始りて面を
連作の表縁乃三句の間
なりて縁乃字より縁と
なりて縁乃字より縁と
なりて縁乃字より縁と

面よせをうし踏乃句い三句を

玉乃緒 二きりい命の久河をれを逝
情よる所し潮よ新を人今一あり君
玉のを物を結をこの緒をかめくいて
結をこの緒人を玉乃緒人を君のよあるを
玉乃ふし人を玉れを稀しいふ
糸物をかめくこ人のこ
ひむく緒を玉のをとこ
ともあり糸ふい逝情しも
あり次命しもあり取
ひ間を一玉乃をるく潮
義乃緒命ふい句編
乃事し玉乃緒しふ河ハ物
を事し海しの玉乃をと
命しに用しれよるし次義
と稀よ濃くも同の義
稀義量乃ふ稀源義ふく
とふ句命と玉乃をよれ
る面を海し義乃字を
いい乃ちるし逝と濃ゆ人なり
命をるぬ玉乃緒しに対て
ちしし所しうし寸玉乃緒い
玉ちぬ乃緒ふるをるれを
る面一句課昭しハ面を昭
し玉石乃玉しい二句をく久
いい乃ちるるぬ玉乃をしい
ぬ寸ちる二句をく

瀧

きそ山麓より一瀑出
乃瀑源乃瀑ハ此あたり
今一瀑潟より曝布とて
一名滝ヶ沢至極しあを絶
乃瀑と曝布ハ面計を隔
し曝布ハ滝口乃間乃
沼より山ヶ沢乃瀑より瀑の
字をいふ次曝布と云し
日むかひより流れく瀑乃字を
書し山字乃ふいあのなく
流れく瀑乃地とよいわ
つくりくりあるを云
あわさるをいわく山ヶ為
乃なをよい字を一向用りい
字書よりあり次ここの字をい
曝布と出らよりあ

流れの字を
流れるを瀑布
曝布と云字をあてこれ
和訓を滝しるよりわく
瀑流瀑ヶ入し川瀑
乃ヶ山より入瀑
瀑乃滝源より山数
無乃滝ハ山数し乃
流れし組瀑流瀑の
字をあてこれ山数をのあ
乃し瀑川と川瀑も山数
わし次乃瀑ハ流れを
組伯乃瀑ヶ西し山数し新
武より西に西と流れ乃
滝瀑ヶ西より西より次瀑
乃のあ乃ヶ同し組へう

[illegible]

玉の宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二句ともに玉の字を入れ
玉り三句共に玉舞玉石玉
とゝ通ゝしこれ玉乃字をとり
て玉ゝ通ゝれを尽ゝしめ乃ゝ
ゝれを結ゝしの玉も玉の字
ゝり三句共に玉の字を同じ
い玉の字をいふまゝ
ゝゝわめゝり命を玉のとゝ
云ハゝゝゝ玉の字ゝ
ゝゝゝゝゝゝ
しゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ命の
巻抱ゝゝ
ゝゝゝハ
玉の字ハ
玉乃字ゝ
ゝれ玉の字
人ゝゝ命ハ
ゝゝ女ゝゝ
ゝ命ハ人
ゝ人ゝ
ハ面を通ゝ
の玉乃字を
ゝ命ハ
ゝ玉の字
ゝ命の
ゝ玉乃字を
ハ面を通ゝ

玉の字を御ゝ
玉ゝ人ゝ
玉乃ゝ
ゝ玉の
ゝ玉の字
ゝ人ゝ
ゝ玉の字ハ連
ゝ人ゝ
ゝ玉乃字を
ゝ命ハ
ゝ命の
ゝ玉乃字を
ゝ玉の

乃至數珠乃むのをとりて
命じ給ふくもゝ所のうゝ次
第ゝ名ゝ名ゝ乃相ゝ乃相ゝ乃花
乃瓔珞乃ゝ人ゝ乃ゝ人ゝ乃やう
まゝ所ゝ乃ゝ數珠乃ゝ
女ゝ乃ゝ女ゝ乃ゝ髮ゝ乃
もゝ乃ゝ髮ゝ乃ゝ女ゝ乃ゝ
乃ゝ乃ゝ髮ゝ乃ゝ
髮ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ

しらぬ人は殊に二句為人さ
し句稚よしわくゝの玉乃四
も成句しきを雅をさつく
人物く吟味あるへし玉祢
玉依姫 玉藻おうやう丸人の
名廣長英し玉屋玉そう也
ホハ玉の玉し玉人廣長英山
玉し玉ゆう珍勝とう家し
海しの玉し屋うらくゝ玉と
いうゝの玉玉るれを玉乃玉よ
七句玉し玉玉乃あしたりぬ
玉玉ゆうゝに付ゝもゝる
うゝ付玉ゆうこをいふ字を
玉ゆうゝもゝあゝも祢れ玉
乃関ゝ海わくゝの玉藍玉こ
新玉年の玉当祢れるわ
ゆ玉もゆゝうゝ玉祢れし
玉ゆうゝ玉玉乃ゝ玉ゆ
ゝ玉ゝ玉ゝ玉

[illegible]

[illegible]

田乃字よ　生田田と浮田乃牡
ホ乃新田乃字よ三
句まわしそ稗も文句ふる
[illegible]
稗田乃字よ文句をへし

あのしれ乃　田乃面の名新
乃稗と表れ
も田の字よりハ文句をし面
を田ホの名も田の字よハ連
り文句を入ハ漁猟うこ句を
[illegible]
[illegible]漁猟よハ文句をし

立田よ　をの字ニ句稗と云
云よのをう稗を
も付くもくるかす

[illegible]

種蒔 祢乃種のなし 東流 栗柔

数大豆の数乃種まくは農

人り数くこそ

[illegible]

竹 連よ七句きるれを 御よ

六句きるれを第四番よ二句きる

きるれを三句きるれを

りけるふも竹のるるれ

六句きる

竹よ きる竹三句 竹よ

よる 御よ 御りる

六句 竹きるる

二句きるへし

竹の宮 祢紙と名ゆと種蒔

よあ 次竹乃宮

ふも 蝶へりて 赤きと

紙 紙 竹の宮 よ 續

紙 あれて 竹の宮よ

紙 句 神二句 竹宮

竹乃林　竹林結合の天然
乃乃乃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と同じ句も通はしたるも
乃義理(きり)なくもあれ和
歌の義理なくもあれ
なるべし
といへるまことに俗なるに
こゝは付句なれば
なるべし知らるべし
とのべ高重一人なる
同じもの多しと云ひよりあり
たるべし
歌よりあらずたと
ひ歌なりとも
[illegible]

[illegible]

[illegible]
おもしろ
おもしろ
きこゝろ
花のこゝろ
とも續
とのこゝ
乃ちこゝ
久しくこゝ
とのこゝ
乃ちこゝ
れもこゝ
あるこゝ
なるこゝ
とこゝ

玉章 初二句を[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

立田姫 秋しの神織女を代
[illegible]
[illegible]
[illegible]

民のうれへ　長歌より長歌

歌　非生歌の句より一首
相模れし歌より續くさん
二ハあるべきなり義あるべ
世俗乃むるものを当るよりたた
ばるるべれしれをうくと
一をへしそ今一ある歌より発
おのれ歌をの歌里歌安竜
虎天歌竜巧鶯貢おの歌
を歌よりの句くも歌乃和
よをへるべ歌より歌くと
へをるべ歌腦歌騰歌骨
歌樹言瀧竜要歌る竜
眼関をの歌歌歌骨車
見ハ漢よりの句くもひとと
乃ら方爾乃ら人のの
のおの辰乃辰乃
歌乃口るの問いくるる
れをの歌よりるる
一おるし漢よりるる
るもへるくをとの
くるるのハ一座二句る
乃歌ハる細のるく歌迫
もるるるや組歌ハる思
関をの句よるへる一句おの
歌を歌よるくも百韻
る二あるハ曲をの句
るる一句を細ハのの
ハを連歌るを
くるるるわるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

モクの長 長歌 [illegible] 長乃字よハ

[illegible]

田蓑の滝 山歌 [illegible]

[illegible]

雪 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序によれば古今の仮名序の書きぶり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たくの字　二句去ることの字ハ字ハ字去り

連よ二あわ　連ハ三句去ることの字去ることの字

三句ハ字ハ字去ることの字去ることの字

三句去ることの字去ることの字

三句去ることの字去ることの字

三句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

脚病法論

総

[illegible]

[illegible]

連よりあまりもしまい連物不[illegible]

痛[illegible]

[illegible]

乃[illegible]

[illegible]

白[illegible]

礼 二字へんしらいと文一字民
礼義 礼なること二字
きこと一字へんしらいひ
へ物をへんへいこと
きこの書 奏聞しるし出をる
乃そこの字よりそ
物を嫌しもくり山の十徐川
人風 物よ一ばくふのこうへくも
きんこ 奏こる出し物を
ち沢乃不り義
作り
連方弥 人編しき礼人
編よあらん
詹 二字よりこと連よ一ねまりそ
二字合一字号乃編んくへ二字
門ちり
療治 療制おりらよを
あるるるり
料理 ふくあ物をうるし
物原 原のるのよるめ
原のみのよ白ちし
猟弥 人編しうり人全をまへ
あるす猟弥とあへ
猟船 もうへうる生熟
よ打紙を嫌し
蜜 ちるの泊るまく一白を
ちり
夏昭女 人編し天蓋したし
概ありらふあく
ちそあまこ二人出ものいうるを

[illegible]

蓮

[illegible]

一連[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神紙

[illegible]

神乃面

[illegible]

神乃書

[illegible]

神乃家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中略して名のみ成もあり
或ハ人名の名よりなれる
もあり或ハ人名の名より成
もあり或ハ人名の名より成
もあり或ハ人名の名より成

[illegible]のこゝの乃下よ[illegible]と云字よ[illegible]
生歌よ[illegible]
よもわをを[illegible]

月と有　文句ちと数よ漢
てしもたる　他月
沢乃月ハ三句去へ

月沢の月　文月
ハ清ちの長月
業月神今月霜月ちう
和ふよ[illegible]天象よハ
郷を始へなし云神
今月ちう明付くを[illegible]へ
ちう[illegible]文句始と
以わ九云ひ神云月といふハ
月[illegible]月[illegible]ちなり

月沢乃月の名多門よ[illegible]
神ち月を[illegible]
文云云ち[illegible]月沢の月
ちう明文句といふる[illegible]一切
[illegible]ちう[illegible]人[illegible]ちまふハ
成句ち月沢乃月よる明
天象る[illegible]郷を[illegible]
月星いう郷を[illegible]
付くいうち[illegible]
八月乃名[illegible]れちう郷を
も始ハ付る[illegible]
二句去よちく郷へ

月沢乃月ハ　きさらぎや
志ち沢ちの[illegible]神乃妹
也蓮歌二句ちの月[illegible]名

年月ゝ日あゝふハ地ゝ沢
又又月毎ハ月乃字あまた
月乃字よわゝも不語
月よ　泳生　衣文美乃新付
てもゝ不苦月よ月沢
乃月の字通ゝ連ゝ又句ゝわた
謝ゝよハ三句ゝへゝ

月小月沢の日　日よ月沢月
　　　

海とのあるを海とし海原よ
原なる海松を海原と海
松なれば月乃あれば海
のうわべの白波よりわれ物乃白
なれば海松よりあれば月の和と
をわかるべし

月乃和歌

和歌とは種松よりとと
れるを

月の和歌

月の和歌をまた月へ和
歌ともいふ月の和歌
和歌ともいふ和歌ともいふ

月の宿

宿あるとに宿
乃月をうの宿
乃月をうの宿

月をあるを

あるを海月の
海をあ人

月乃友

人倫と地名神を
人をあ人月を友人
倫よあるを

月を

むの兎とも兎を
雑をあ行を海と
乃月を

月新たなる

新たなる月新たなる
月をへ物をへくれ今一も
をへを雑をもあるを
とに行を雑をもあるを
原を海を海を月を新
を海を月乃白物をへ今一白

[illegible]

月出てから　堀よりも白きへ
[illegible]
てゐる迄し月乃ひかりとけて
堀乃海干と用ゐられを
月の初　明方潮を月出
てゐむ　[illegible]
[illegible]
[illegible]

乃名木乃花八玉花の花
秋むしろてハ深草野辺よ
い月を桂の一字のかくれ
世光を花と花と桂と見へ
まつく桂の宮とも桂とも
まとと乃くこ富云めり時富云め
なくろ玉ゑの花ハ桂のかよ
毎ちくく結人出張よと
ゆを三の絵乃源のことて
をきき結乃結を三の通よ見
じまいろ結ちとかられ結ち
絵乃ゆ花ハ桂ことあき月乃桂
ちくろ花ハ桂ことの三を
絵三ゆ玉云ら桂ハ実めるこ人
乃桂と結ゆも結ちて実ゑ
桂ゆ宮家めこ徒桂きても

もあれを玉ゑよ結へ
月ゆをとも玉てきくゆ
結葉よ玉四乃数を
月乃桂の花ゆ葉くへをの
乃云桂ものこ句結きくち
三句めゆいくくゆ
へくもをへくゆ桂桂よ
ゆくを結ゆへ句ゑくを
も桂句くます

月ゆ乃ち　ゑくを神桂ち
ゆくます
月乃ゑちゆ　桂こ月ゑん
ていろく

月をあふみ月をあうむる
わもらうしの句八同
月のむら　二毎のわらまるよ
ハ句とあり雛よ
さ三句ちかう
月の歌　冬こあるらるる
ゆこあ四よあ
雅歌よ雅うる月乃句雅
ゆうこ雪三あ四
清水流れたる
名雪のよ雪とかるる
清水のうたのうは
ゆやうこ清水流れたる
雪の句雅歌清水流れ

今一連もあるまつ雛よい
句海く雛ゆんもの系
ゆく雪よ清く今一連を
今一清水をうく雅た
ゆうよるふもくとよ
ひよい雛ゆうもう三句ま
てハ句入ハ寸三句の四六
雪ゆうハ

清文字　清水大津郡清清
乃数字ゆ
大津奥津おハきゆ
ハ清ゆうこ四ゆこ
三句清ゆこハ

瓜末　瓜乃ゆ拙句
むゆ山雪ゆもの
句をゆ雪ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅とゝ花の新を分よわ梅し
とれも紅葉より先ちるこ者
乃久ゆん乃久ゆ者ゆくゝ
はちとゆゝ句ゆゝと日意
ゆゝ句ゆゝとゝく句御よゝゝ
さゝし

霧雨霧雨霧雨の時雨　秋く紅う
はゝゝ秋ゝゝ　ゆゝよいひ
を張ゝ梅ゝゝ　ゝゝも霧雨ゝ霧
ても霧乃字ゆれと秋ゝ文
霧乃字ゆゝゝ　ゝゝも雨冬の文
字ゆゝゝゝ　ゝゝゝゝゝゝ
三句ゝ系のふり地ゝ二句と
はゝゝゝ　秋し八月ゝゝ
新ゝの除用と

て新ゝ雨ゝ霧ゝ雨ゝ
雨ゝ雨ゝゝゝ

桂　桂し系を桂くいゝゝし
ゝゝくゝひゝもの字ゝくゝも
ゝ乃ゝゝゝ句御ゝく字ゝ
ゝゝ連ゝ一句の地ゝゝ
那ゝ八ゝゝゝ　桂桂ゝ桂
解ゝゝひかゝゝ　桂ゝ桂
地桂のゝゝゝゝ　桂乃
ゝゝゝ二句ゝゝ

霧文く　秋ふゝ源の字ゝ
ゝゝゝゝゝ　二句地新ゝ雨ふ
ゝゝゝゝゝ　ゝゝ八新雨ふ文雨ふ
乃ゝゝゝゝゝ　ゝゝゝ秋ゝ秋
霧乃ゝゝゝゝ　ゝ変のゝ海ゝ

清輔朝臣ふかきの字を用ゐるも不吉つまるもつまさ同じ

鴨

鴨は水鳥の人同じ

孔雀尾の鶴

孔雀尾の鶴とかくべし

翅

翅の字を用ゐるべし山鳥の尾の二句

鶴の鶴

鶴の字を用ゐるべし

常の字

常の字を用ゐるべし

雲乃鶴

雲乃鶴

清輔朝臣ふかきの字を用ゐるべし

清輔朝臣永

清輔朝臣永の字を用ゐるべし舟乃句は橋を用ゐるべしそも同じ

清輔

清輔朝臣は清輔朝臣の字を用ゐるべし清輔朝臣は清輔朝臣の字は二句を用ゐるべし小乃人は名を用ゐるべしそも同じ

清輔の

清輔の二句を用ゐるべし

ぬさ袖をの句は

ぬさ袖をの句は今一句

なり

[illegible]の字 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

人倫をのぞき侍りて後
一巻は一部なるハ物をうへ面和
後に者ゐしく整へよみくを
一あるを芸道（へいだう）芸道（げいだう）の智道（ちだう）
ひるくハ仕（つかまつ）るより巻の字のう
いまらく不二変（ふへん）毛ハ使三句
乃和歌句しきの字より
ハ二句始へ仕字の巻字ハ
面ちと去へ歌（うた）の歌（うた）を
殺（そ）るへ

壽（つま）よ妹（せ）ハ句神（かみ）なる事
始へ〜いきまも意ちる面を
乃清（きよ）ハ物の書るとよハ付
てもくるし歌

清濁（せいだく）ハ清（きよ）ハ濁（だく）ハ八七句まへ義（ぎ）なくう
連（れん）のくく面を清（きよ）ハ結（むすび）

清濁（せいだく）ハ物（もの）よ濁（だく）ハ二句あり
その間一句ハ三句長
清濁（せいだく）ハ句（くぜ）ハ意（いき）る所（ところ）
清濁（せいだく）ハ句（くぜ）ハ物（もの）の字（じ）をへ
ても濁（だく）面（めん）と
いふ句（くぜ）ハ意（いき）ハやうをめ字（じ）のし
乃ちよハ付（つく）ハ意（いき）ハ
和（わ）ハ句（くぜ）ハ濁（だく）面（めん）とうく和（わ）
清（せい）ハ句（くぜ）ハ物（もの）をうへく三句（さんく）を
和（わ）ハ句（くぜ）ハ三（さん）のうく意（いき）
ときく面

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九云ひさらのうあるよ物の
物のるハ物乃字をへいさも
るへしもるへしるむよ物へう
寸国を屋養の一名しもと
わひをきるるるゝ外の字ゝ
るるく紬乃字ゝ物しくると
も清面をう面へる狭連ゝ
ともわを瀬しもるくう
ち紐の外ハ編へるす深
罷るるく数ゝよ積くも国

二乃国
物のび
寝字 新式よ一産四句乃
拍子れて瀬清ゝい
ちんと数ゝよるるるくゝと
をへし物ゝひうう寝獨物
物寝物ゝ

いひ蛇物ご数人るるの数
しもホよぬるるとうふ紐い連
ホよ面をきるるへも瀬清
ゝハセ句をし国眠約いもセ
句をし人ゝ物るよ蝶句
ぬる物るハセ句をへしみる
乃ぬるよ蝶のぬるるる
面を物乃るし蝶句乃
物るぬるもわるくいるへ
るす数をるへく二を
句しる物も物るぬる
物るるる紐を句くを
へるし寝乃字ゝ乃るる
熟ホ物るとぬるとれる
紐るる物乃字ゝ乃ゝよ
ぬるハ表ゝあるると連欲す

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]すの為葉より正月七日
涅槃より二月五日桃の花より三
月三の菖蒲より端午五月より
八月十五夜九月十三夜菊より
重陽九月九日迄も可申分歟 言
云曷くらう同もしそれ云ふ
きく〻藤の花わくに松とくらう
いつ[illegible]よりもる日乃仏生会
[illegible]桃花より[illegible]してその
[illegible]わ正月七日
仏前人ひとさ乃せわそ
きもの為葉といふくい
葉とくらわ云句なる分く
もくもかす涅槃くら云
[illegible]わ二月五日乃[illegible]
[illegible]桃の花乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

よ物乃うくへ今日菓子
九月のる重陽なる物
八白紙よりつくること
なること菓のさけ菓乃ち
なくるふ八月ちまて八月
先ちうく作りお白菓
重陽乃ちるもの乃ひけぬ所うの
菓子なれとよいちうくなる
ぬ所うよ付なるてなるとうさ
所ん去も小松うなとる日乃
んやもうもうむ所うの白紙
なるこんるる日付八人ちす古人ち
松よ付ちう白ちとうて学者
ちうるる所うて妹よりわ弼よ
いわ乃ちを所ちく一箇ち

ちわちうのちを白代ちう
まうるもわ乃ちるもの餘乃
あさ所うちうるもの
去ちるものうくうくく
敷乃糸 敷しセるよ白去
糸し付羊のとう
ちうる所ちわ
猫 白ちる銅乃ちる面
ちるわをうへ白今一ちる
白猫ちうへうる次
猫ひちわ ちし獣ちわの
根小 ちやちうけを猫
ちうさうるぬわ
菓子のおうちわとうる
ちうくる根矢乃孫人のん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

根字

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

不審添ふ目こゝろ沢目
流ふ八幡目ふ場ふあとこゝ
こゝ目あわこゝ句こゝ目乃
こゝむ目のこゝ
めと形ふうこゝ目ふあふ
こゝふめふあふこゝの数こ
末のめ筋のめ流こめこゝ
めるこゝの句をこゝ目ふこゝ
めふこゝこゝ目こゝれこゝ
こゝこゝふこゝ句こゝふ形を
こゝる宗匠いこゝ形ものこゝ
こゝ形こゝわこゝくいこゝいの基
なこゝ加ふこゝめふ目乃宗ふ
場へこゝこゝとわ宗こゝ乃
歌わ宗こゝち目流こゝ場ふ
こゝ流こゝふ八こゝ

こゝ流こゝふ八幡こ目こ句こ
ふこゝめふ形こゝ句こゝ
こゝ形こゝ句こゝ流こゝ
こゝ句こゝ場こゝ
こゝ流こゝふ八こゝ

苗代　きこ形流こ句こ目こ場
二句ここ流こ歌ふ苗代を
歌の宗ふいふけこゝ句こ
流こ居こわふ二句こ縄こふ
こゝ宗こゝこゝこゝふ八ふ形を
場へこゝ苗ここゝふ形こ
場こ人ここゝ孫を苗裔こ
教ふ績時こ宗こ苗ここゝ
こゝこゝこ三句場こ同こ
苗こ苗八場句こゝこゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

瀧乃時毎

瀧よ

洞乃うすむ

瀧川

[illegible]
[illegible]の洞川と同わるいを
[illegible]次猴川を作勝の
[illegible]なり

洞こく　連より七句猴しは
[illegible]句さわし

猴より　[illegible]不踊組る
[illegible]れ
[illegible]二句猴こ

泣より　[illegible]黙乃[illegible]ハ二句し
生類乃[illegible]ハ鳴[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]句[illegible]
[illegible]より二句あり

なる所より　[illegible]黙乃[illegible]同
[illegible]ハ二句[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]れ[illegible]
[illegible]なり組

[illegible]乃[illegible]
[illegible]ハ同句も
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]句も
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きこえたるうつり花のくもりなくもりなきもくもりなく
いかくもんゆゑ[illegible]
二句をはなれよおのよりの字
あわるるおなじ[illegible]
故
計ともけりもの乃字をくく
なきまわいたりもえん
二句をへ歌の義をもて[illegible]
[illegible]
[illegible]
句[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やまとうたのなりたちは
しるべきなり
ものゝ字一字
をもてこの外
字のつゝけかたを
付句ともわとを
なるべし

なれる連よりは面を連歌
七句ともし句ともいふ
百韻より二句あり
ともし

なるんより二あり
ともしてにをはをとゝ
なるんといふ

なるん
こつ
なる

なるへし
なるんに
なるんと

ばの字より二あり
つゝけてにをはいと面なる
雲と移りゝ
ばの字

やとゝいふ
やとてをはるれた
ゆへばの字より一字あること
ともへも根ぬきてにをは
なるふしもわるなるんなる
きもの付句也

なるべしなるわ
一座より二あり
連よりは面
なるべ
ゆへ
ばの字
ばの字
ばの字

[illegible]

三句

[illegible]

雞冠　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

句をもつてのの句は二句
をもつて句とし歌よりのく云
はゝ二の間し

夜抵と云句小短冊あるも
こゝろ歌をもつへしとて
清二今一名あるよるべ

あり祢中祢も祢同じ一歌
めりあり乃祢ゝ
天一祢乃清もし祢四の間
名祢も祢紙こゝてゝへの河
乃清祢も

波乃寒 秋も清抱清
雪ハ雜も

波抵 春句をもつ句よりはゝへ
ゝれと大ゝ抵よりゝ
歌ゝし

波 三句をもつ迄尾花
乃波数波ゝ迄ゝ
あゝすといへゝも波乃字
よハ字をもつ

ゝゝ木 春木とゝ
梅の字ゝ三句を
しゝ抵ゝ梅抹ハ双抹とゝ
二句をもつ
ゝんしあゝ
ゝ抵ゝ付句
くの人ハ清ハ清の清乃字
ゝゝ木とゝ時清乃字

流（ながれ）連（れん）は二句連（つら）なり

あと絶（たえ）なる債（さい）も三乃関（さんのせき）

なれども書（かき）こ流（ながし）人流（ながし）羅流（らるる）

ひあり（こと）

よ債（さい）句（く）

句（く）一句（いく）連（れん）乃（の）まるいろ

連（れん）もあり（こと）

乃一流（いちりう）も三乃（さんの）あり（こと）

つ絶（たえ）よ（に）

水色（すいしき）よ（に）あり（こと）

あ（こと）ろ（こと）の乃（の）関（せき）山（やま）

あ（こと）て（に）ま（こと）こ（こと）

あ（こと）て（に）こ（こと）ろ（こと）の乃（の）ま（こと）を（こと）

も（こと）あ（こと）ま（こと）ら（こと）れ（こと）

あ（こと）ま（こと）ら（こと）ま（こと）ほ（こと）

乃（の）字（じ）よ（に）は三句（さんく）さ（こと）ら（こと）れ（こと）る（こと）わ

中（なか）よ（に）ら（こと）

二句（にく）ま（こと）へ（こと）中（なか）に

世（せ）乃（の）あ（こと）ら（こと）も二句（にく）

と（こと）の（こと）ら（こと）世（せ）中（なか）と（こと）く（こと）ゆ（こと）へ

あ（こと）す（こと）ん（こと）る（こと）ま（こと）と（こと）ふ（こと）物（もの）

中（なか）に大内（おうち）も二句（にく）も同（おな）じ裏（うら）

裏（うら）と（こと）の（こと）何（なに）し中（なか）よ（に）付（つく）

不苦（ふく）ら（こと）と（こと）ふ（こと）よ（に）は三句（さんく）

なり

中（なか）恋（こい）ま（こと）く（こと）

ま（こと）た（こと）ら（こと）と（こと）

ま（こと）く（こと）

[illegible]今一句ゑこう
蝶[illegible]とあるふ[illegible]中
[illegible]乃四[illegible]八漆句二と
八不[illegible]

蝶 人倫し中の字を[illegible]字に
[illegible]乃一字あ[illegible]
[illegible]わ組い[illegible]せの中[illegible]中
[illegible]の[illegible]乃句の中[illegible]
蝶[illegible]連[illegible]わを[illegible]へし[illegible]
八面を[illegible]

[illegible]
[illegible]八二句[illegible]へ
[illegible]八[illegible]へ[illegible]
[illegible]二句[illegible]連懐[illegible]
[illegible]

一切[illegible]
と[illegible]今一[illegible]へ

[illegible]
[illegible]道[illegible]一
[illegible]人を結
[illegible]
[illegible]二句[illegible]連[illegible]
[illegible]句[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]句[illegible]地[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]地[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梨の花　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九磯巷